

久留倍官衙遺跡案内

2016.08.22

▶ タイトル(仮 題)

「朝明と壬申の乱」

第六稿

▶ 制作時間＝約 6分00秒～6分30秒

▶ 撮影日 未定

N＝男・女性ナレーション

S #1 壬申の乱前夜

約1分30秒

● 黒い画面にスーパー

久留倍官衙遺跡

◆ 久留倍官衙遺跡

遺跡から海が見える風景

ドローン映像とCG

● CG映像にスーパー

朝明と壬申の乱

● 古代文様にスーパー

天皇系統図

◆ 天智と大海人 イメージ映像

◆ 現在の吉野宮 宮滝遺跡

◆ 吉野の宮模型

(吉野歴史資料館)

● スーパー

或曰 虎着翼放

虎に翼を付けて放てり

● 天智崩御 イメージ映像

◆ 御廟野古墳

京都市山科区

◆ 日本書紀 該当部分

西暦672年 壬申の乱 勃発

大友皇子×大海人皇子

(男性ナレーション)

くるべかんがいせき

久留倍官衙遺跡。

平成十一年に見つかったこの遺跡は

日本の古代史に大きく関わった可能性を宿しています。

六百七十一年(天智天皇九年)

天智天皇の弟、大海人皇子は天智の譲位を断り、出家して吉野の宮に入ります。

「虎に翼を付けて放ったようなものだ」

天智が崩御すると、その息子、大友皇子側が兵を集めているとの報が吉野にもたらされ、ここに古代最大の内乱、壬申の乱が勃発しました。

S #2 吉野脱出

約3分30秒／5分00秒

◆ 鷗野讚良皇女 シルエット

● スーパー

日本書紀卷二十八

(何黙亡身耶)

何ぞ黙して身を亡さんや

N6

(女性ナレーション 鷗野讚良皇女)

なんぞ、もくして

「何ぞ黙して身をほろぼさむや」

夫の言葉です。

慌ただしい出立でした。

息子、草壁皇子をはじめ、年端もゆか

ない男女、僅か三十人ばかりでした。

◆ 現在の吉野宮 宮滝遺跡

◆ 野道を足早に歩く武人の足元

N7

(男性ナレーション)

大友は圧倒的な戦力を持っていました。

そのために、吉野脱出前に、大海人は

使いを美濃に派遣し、兵を集めさせて

います。美濃には大海人の湯沐邑、つま

ゆのみ

り領地がありました。

N8

また、近江方の東への連絡路である

ふわのみち

不破道の封鎖を命じています。

そして、大海人は伊賀・伊勢を経て、美

濃への行軍を続けながら兵を募って

行ったのです。

● スーパー行軍図

◆ 現在の不破辺り

◆ 美濃 金生山から遠望

<p>◆ 激しい雨が叩きつける</p> <p>◆ 朝日が昇る</p> <p>● スーパー</p> <p>◆ 日本書紀写本</p> <p>丙戌旦、於朝明郡迹太川邊</p> <p>望拜天照大神</p> <p>◆ 三滝川の流れ</p> <p>◆ 鷗野讚良皇女 シルエット</p> <p>◆ 赤い軍旗</p> <p>● スーパー行軍図</p> <p>官衙遺跡との関係図</p> <p>◆ 久留倍官衙遺跡</p> <p>アローン映像とCG</p> <p>◆ 発掘の様子</p>				
N 12	N 11	N 10	N 9	
<p>久留倍官衙遺跡は、大海人が辿った</p> <p>どの手を打っています。</p> <p>市皇子を総大将として不破に遣わすな</p> <p>朝明評家に入った大海人は、息子の高</p> <p>(男性ナレーション)</p>	<p>すると、近江を脱出した大津皇子も</p> <p>合流。また、美濃の兵、三千人が不破</p> <p>の道を封鎖したとの報も齎されるなど</p> <p>良い兆しが到来しました。</p>	<p>(女性ナレーション 鷗野讚良皇女)</p> <p>大海人は天照大神に戦勝を祈願してい</p> <p>ます。</p>	<p>雲間から太陽が顔を出したのでしよう。</p> <p>しかし、朝明評の迹太川に至って、</p> <p>あさけのこおり とおがわ</p> <p>た。</p> <p>目の夜に激しい雨が大海人を襲いまし</p> <p>た。</p>	<p>昼夜を分かつたず行軍していく中、二日</p>

<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現在の野上辺り ◆ 現在の不破 ● スーパー行軍図 不破 ◆ 現在の桑名評 ◆ 鷗野讚良皇女 シルエット ◆ 赤い軍旗 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本書紀 該当部分 ● スーパー行軍図
	N 14	N 13
<p>ました。</p> <p>は不破の後方、野上行宮に本営を置 <small>のがみのあんべう</small> せ、自身 は高市に主力部隊の指揮を任せ、夫 り、夫の勝利を祈るばかりでした。夫 苦しい行軍でした。私は桑名評に残 <small>くわなのこおり</small> した。</p>	<p>力にまでに膨れ上がっていました。</p> <p>その時、大海人軍はおよそ三万の兵 なります。</p> <p>か三日で吉野から不破に至ったこと 破に陣を敷いたのが26日ですから、僅 途中、伊賀・伊勢を通過し、高市が不 吉野宮を脱出したのが6月24日。</p>	<p>た。</p> <p>大海人が立ち寄った朝明評家との関 <small>あさけのこおりのみやけ</small> 係が指摘されています。</p> <p>古道、県道9号の沿線で発見されまし</p>

◆ 炎など戦のイメージ

N 15

(男性ナレーション)

その後、戦況は一進一退を繰り返しますが、最後には大海人軍が瀬田橋の決戦に勝利し、大友はその翌日に自害しています。

◆ 箸墓または瀬田橋の戦い模型

◆ 鷗野讚良皇女 シルエット

(女性ナレーション 鷗野讚良皇女)

◆ 伝飛鳥浄御原宮跡

あすかきよみはら

エビノコ郭

夫は翌年、飛鳥浄御原宮を新都に定

ドローン映像を交えて

め、即位します。天武天皇です。

● スーパー

飛鳥浄御原

(男性ナレーション)

◆ 天武天皇像 イメージ

N 16

天武は、強固な皇親政治を敷き、天皇を中心とする中央集権国家を確立、律令国家の原型を創りました。

◆ 久留倍官衙遺跡とCG

N 17

久留倍官衙遺跡。

N 18

大矢知で発見されたこの遺跡は日本の黎明期をつぶさに見てきたのでしよう。

久留倍官衙遺跡案内

2016.08.22

▶ タイトル(仮題)

「朝明と聖武天皇の東国行幸」

第六稿

▶ 制作時間＝約 6分00秒～6分30秒

▶ 撮影日 未定

N＝男・女性ナレーション

●黒い画面にスーパー

久留倍官衙遺跡

◆久留倍官衙遺跡

資料映像 発掘調査

ドローン映像とCG

●CG映像にスーパー

〜朝明と

聖武天皇の東国行幸

●古代文様にスーパー

天皇系統図

◆続日本紀写本

◆聖武記 九巻

◆東大寺

◆聖武天皇像 写真

(男性ナレーション)

N 1 久留倍官衙遺跡。

N 2 平成十一年に見つかったこの遺跡は

日本の古代史に大きく関わった可能性を宿しています。

N 3 第四十四代 聖武天皇。

二十六年間の在位中、東大寺の大仏造立をはじめ、天平文化を華開かせた天皇として知られています。

N 4 聖武の治世には、長屋王の変や多くの自然災害が起こり、聖武は

「責めははわれ一人にあり」と勅して
みことり
 います。

<p>◆ イメージ 榊 しめ縄 など</p> <p>◆ 聖武天皇像 写真</p> <p>◆ 炎など戦のイメージ</p> <p>● スーパー</p> <p>朕、意う所有るに縁りて、今月の末、暫く関東に往かん。その時に非すと雖も、事已むこと能はず。將軍これ知るとも、驚き怪しむべからず</p> <p>◆ 揺れる赤い軍旗</p> <p>◆ 続日本紀写本</p> <p>◆ 行幸ルート</p> <p>◆ 河口頓宮跡</p> <p>白山町川口</p> <p>◆ 伊勢神宮</p> <p>◆ 続日本紀</p> <p>該当箇所</p>		
N 9	N 7	N 5
<p>このことが行幸の大きな目的の一つだったことが窺えます。</p> <p>聖武はこの行幸のち、<small>くにのみや</small>恭仁宮への遷都を断行しています。</p>	<p>十月二十九日、平城京を発った聖武は伊勢国に入り、一志郡河口頓宮に至ります。</p> <p>十一月三日、皇祖神、天照大神を祀る伊勢神宮に使者を遣わしています。</p> <p>に計画されています。</p>	<p>また天然痘の蔓延により、都は死者で満ちあふれていました。</p> <p>の一新が不可欠でした。</p> <p>聖武は七百四十年(天平十二年)、九州では藤原広嗣の乱が起こっているさなか、東国への行幸に旅立ちました。行幸に必要な組織の立ち上げ、四百人に及ぶ騎馬兵の編制など、行幸は綿密</p>

●スーパー行幸ルート

◆赤坂頼宮跡

亀山市関町

N 10

新しい都の平穩を願ったのでしょうか？
あかさかのとんぐつ
十一月十四日には鈴鹿赤坂頼宮に入ります。

S#2 壬申の乱 追体験

約3分30秒／6分00秒

◆鷗野讚良皇女 シルエット

N 11

(女性ナレーション 鷗野讚良皇女)
聖武は私の曾孫にあたります。

●古代文様にスーパー
天皇系統図

◆鷗野讚良皇女 シルエット

N 12

夫、天武天皇と私の血筋をひく天皇を即位させる。
それは私の悲願でした…
ささのあんぐつ

◆大海人行軍図と

聖武行幸図の比較

二泊しました。赤坂から不破までは壬申の乱で夫が辿った道です。

◆赤い軍旗

この貴族や騎馬兵400騎を従えた行幸は壬申の乱を追体験したものでしょう。

◆万葉集写本

(男性ナレーション)

万葉集には、「この行幸で三重郡の

◆海の遠望

●スーパ―
妹に恋ひ 吾の松原 見渡せば
潮干の潟に 鶴鳴き渡る

詠人 聖武天皇

◆聖武天皇社と歌碑

●スーパ―

後れにし人を偲はく思泥の崎

木綿取り垂でて幸くとそ思ふ

詠人 丹比屋主真人

◆海の情景

●スーパ―

狭残の行宮にて

大君の行幸のまにま我妹子が

手枕まかず月そ経にける

御食つ国志摩の海女ならしま

熊野の小舟に乗りて沖辺漕ぐ見ゆ

詠人 大伴家持

◆久留倍官衙遺跡 CGと映像

N 15

久留倍官衙遺跡で発掘された大きな建物が行幸に関係するとの指摘があります。

◆鷗野讚良皇女 シルエット

N 16

(女性ナレーション 鷗野讚良皇女)
聖武はわが夫の足跡を辿り、時を超えて大海人に思いを馳せたのでしよう。

◆美濃 金生山から遠望

N 17

(男性ナレーション)
十二月日、聖武は不破頼宮ですべての騎兵を都へと返してしまいます。

◆赤い軍旗

あがのまつばら
吾の松原で聖武が詠んだとされる歌が残されています。

たじひのやぬしのまひと

また、丹比屋主真人の詠んだ歌も残されています。

遅れてきたのは大津皇子で、壬申の乱の故事を詠んだ歌との説もあります。

朝明の狭残行宮で大伴家持が詠んだ歌も二首、残されています。

<p>◆現在の不破辺り</p> <p>◆山吹の花</p> <p>◆相良別荘 六角井戸 推定 山背国玉井頓宮</p> <p>◆恭仁京跡 (山城国分寺跡) (木津川市加茂)</p> <p>◆鷓野讚良皇女 シルエット</p> <p>◆飛鳥浄御原</p> <p>◆東大寺 大仏</p> <p>◆奈良の情景</p> <p>●スーパ―</p> <p>青丹よし奈良の都は咲く花の にほふがごとく今盛りなり</p> <p>詠人 小野老</p> <p>◆奈良の情景</p>			
	N 21	N 20	N 18
<p>はその舞台の直中にいたのです。</p> <p>ら築いていった日本文化の礎。私のひ孫</p> <p>づくり。優れた大陸文化を吸収しながら</p> <p>我が夫が描いた天皇を中心とした国</p> <p>にほふがごとく いま盛りなり」</p>	<p>「あをによし 奈良の都は 咲く花の</p>	<p>(女性ナレーション 鷓野讚良皇女)</p> <p>その後聖武は、再び奈良へと都を移し</p> <p>念願だった大仏の造立を果たします。</p>	<p>大海人はこれより先には進んでいませ</p> <p>んから、聖武もここでも壬申の乱の追体</p> <p>験を終えたのでしよう。</p> <p>ここからは遷都に臨む行幸です。</p>

◆久留倍官衙遺跡
発掘風景

N
22

(男性ナレーション)
久留倍官衙遺跡。

◆久留倍官衙遺跡とCG

N
23

大矢知で発見されたこの遺跡は天平文化の最盛期に、その頂点に立つ人びとをもつがさに見てきたのでしよう。